

現行蚕品種の性状と品種改良の動向

農林省蚕糸試験場育種部長 農学博士 清水 滋

春蚕用 23 品種の蚕種製造数量割合

番 号 (織 度 順)	蚕 品 種	織 度	31 年	32 年	33年(計画)	育 成 者
1	日 光 × 万 華	3.25 ^d	0.4 ^{fg}	0.9 ^{fg}	0.7 ^{fg}	昭 栄
2	綾 光 × 神 月	3.15	0.8	0.8	1.0	神 栄
3 ⑦	春 月 × 宝 鐘	3.11	2.7	3.4	4.8	鐘 紡
4	日 122 日122(太) × 支122(太)	3.05	1.0	1.1	0.5	国
5 ①	(日 122 改) × (支 122 良)	3.04	31.7	24.9	21.2	国 と 蚕 研
6	群 峰 × 錦 水	2.99	0.6	0.8	0.4	群 馬
7 ⑧	日 122 × 支 122	2.91	9.0	6.6	4.2	国
8 ①	日 501 × 支 502	2.90	—	0.0	0.7	国
9 ⑨	善 光 × 清 月	2.88	3.3	2.2	2.0	長 野
10	信 州 × 錦	2.87	1.7	1.2	0.9	長 野
11 ②	太 平 × 長 安	2.86	18.9	19.7	17.0	片 倉
12	昭 白 × 新 光	2.85	1.5	0.9	0.4	鐘 紡
13	鈴 峰 × 白 雅	2.82	1.0	0.6	0.7	亀 山
14	日 122 秀 峰 × 刀 水	2.80	2.2	1.0	1.2	国 と 群 馬
15	(日 122 日122(細)) × 支122(細)	2.77	0.2	0.0	0.0	国
16 ③	瑞 光 × 銀 白	2.72	0.2	9.6	16.0	蚕 研
17	永 興 × 光 安	2.70	0.2	0.2	0.3	日本レイヨン
18 ⑥	日 124 × 支122(太)	2.68	0.0	2.6	7.8	国
19 ⑤	豊 光 × 新 玉	2.66	9.6	7.7	8.8	郡 是
20 ④	春 花 × 光 嶺	2.57	9.4	9.6	9.0	片 倉
21	白 嶺 × (銀 河)	2.45	—	0.0	0.5	大 竜
22	旭 光 × 雪花(三眠 蚕)	2.00	0.1	0.1	0.1	郡 是
23	支 21 × 三光(")	1.96	0.1	0.1	0.0	国 と 蚕 研

夏秋蚕用 16 品種の蚕種製造数量割合

番 号 (織度順)	蚕 品 種	織 度		30 年	31 年	32年(計画)	育 成 者
		初 秋	晩 秋				
1	郡 光×万 里	2.72 ^d	2.80 ^d	4.8 [%]	5.8 [%]	5.4 [%]	郡 是
2	(長 光 × 信 和)	2.62	2.78	4.1	3.9	3.3	長 野
3	秀 峰×明 月	2.67	2.69	4.4	2.1	0.6	群 馬
4 ①	日 122×支 115	2.55	2.77	28.5	26.7	17.9	国
5 ㄱ	千 秋×万 古	2.59	2.73	0.0	0.0	0.0	片 倉
6	錦 秋×鐘 和	2.53	2.77	2.3	3.6	3.9	鐘 紡
7	(日122×(支115 日124×支124)	2.62	2.64	—	—	2.1	国
8	信 州×白 雪	2.55	2.71	3.6	6.8	7.8	長 野
9	日 115×支 108	2.56	2.63	9.6	7.0	7.3	片 倉
10	日 124×支 124	2.47	2.67	—	6.8	23.3	国
11	栄 宝×秋 玉	2.52	2.62	—	—	0.7	神 栄
12	(松 花 × (山 晴)	2.49	2.62	3.2	7.2	6.3	高 原 社
13	秀 光×銀 玉	2.41	2.62	1.8	0.5	0.4	郡 是
14 ㄱ	日 501×支 501	2.43	2.54	0.0	0.0	0.0	国
15	昭 光×栄 華	2.47	2.35	—	2.5	1.1	昭 栄
16 ②	秋 花×銀 嶺	2.23	2.30	24.9	21.5	15.4	片 倉

春 蚕 用 主 要 品 種 の

No.	蚕 品 種	育成者	飼育日数	対3眠起 化蛹歩合	対3眠起 収繭量	玉繭歩 合	1立顆数	繭 重	繭層重
1	日 122 × 支 122	国	25.12 ^{日 時}	90%	18.3 ^匹	5%	77 ^ヶ	2.12 ^瓦	47.3 ^繭
2	(日 122 × (支 122 改 良	国と蚕研	25.14	89	18.1	4	79	2.13	48.5
3	善 光 × 清 月	長 野	25.12	90	18.1	2	75	2.09	48.5
4	春 月 × 宝 鐘	鐘 紡	26.10	92	18.4	4	79	2.12	50.3
5	信 州 × 錦	長 野	25. 5	93	18.7	1	70	2.04	46.4
6	瑞 光 × 銀 白	蚕 研	24.21	93	18.5	2	75	2.09	47.1
7	太 平 × 長 安	片 倉	24.23	93.1	19.1	4	72	2.23	51.8
8	日 124 × 支 122(太)	国	24.10	91.0	19.2	4	71	2.25	51.7
9	豊 光 × 新 玉	郡 是	24. 1	92.8	17.7	3	75	2.02	46.4
10	春 花 × 光 嶺	片 倉	24.17	91.4	18.4	4	75	2.15	48.0
11	白 嶺 × (銀河	大竜社	24.13	94.2	19.3	4	77	2.20	46.5

夏 秋 蚕 用 主 要 品 種 の

No.	蚕 品 種	育成者	飼育日数	対3眠起 化蛹歩合	対3眠起 収繭量	玉繭歩 合	1立顆数	繭 重	繭層重
1	秋 花 × 銀 嶺	片 倉	24.08 ^{日 時} 24.21	82 [%] 92	14.0 ^匹 13.1	— [%] —	91 ^ヶ 96	1.80 ^瓦 1.56	35.2 ^繭 31.9
2	秀 峰 × 明 月	群 馬	22.15 25.11	78.1 78.2	13.1 13.7	4 5	90 82	1.73 1.80	34.6 37.0
3	錦 秋 × 鐘 和	鐘 紡	21.20 23.01	88 87	15.7 16.0	2 2	92 90	1.85 1.90	38.7 41.5
4	信 州 × 白 雪	長 野	21.16 22.21	89 89	15.3 15.6	3 2	83 83	1.78 1.82	38.1 39.3
5	(松 花 × (山 晴	高原社	21.18 23.03	89 88	15.3 15.4	2 2	86 83	1.79 1.81	37.7 40.0
6	日 122 × 支 115	国	21.01 24.04	86 88	15.4 16.8	0.6 0.7	97 86	1.79 1.95	38.1 42.2
7	郡 光 × 万 里	郡 是	20.23 22.22	89.7 90.4	15.6 15.8	0.6 1.2	93 85	1.81 1.72	37.9 37.6
8	(長 光 × (信 和	長 野	21. 8 23. 8	89.4 90.1	15.2 15.6	1.1 0.9	89 87	1.77 1.79	37.0 38.9
9	日 124 × 支 124	国	20.20 22.19	88.5 90.6	16.6 16.6	0.4 0.4	83 80	1.91 1.88	39.9 40.8
10	(日122 × (支115 日124 × 支124	国	20.21 23. 2	91.7 90.2	16.4 16.3	0.4 0.4	91 84	1.82 1.86	38.5 41.0
11	日 115 × 支 108	片 倉	21.12 23.19	86.5 90.9	15.6 16.6	2.2 2.1	90 85	1.89 1.90	40.5 42.6
12	昭 光 × 栄 華	昭 栄	21.00 23. 4	90.4 90.5	15.9 15.9	1.0 1.0	89 79	1.82 1.82	38.6 40.0

性 状 一 覧 表

蒴層歩合	蒴糸長	蒴糸量	蒴糸度 デニール	解舒率	千米落緒	生糸歩合	小ぶし	織度 偏 差	蒴層練減 (生糸%)	調査年度
22.3%	1183 ^米	39.3 ^匁	3.00	89%	0.11 ^回	18.6%	92 点	1.45 ^{デニール}	— %	26 年
22.9	1210	40.7	3.04	89	0.12	19.1	93	1.24	(21.7)	"
23.3	1237	39.6	2.88	88	0.12	19.0	93	1.34	(20.5)	28
23.8	1229	42.5	3.11	82.7	0.18	20.23	91.4	1.32	(21.5)	29
22.8	1254	39.9	2.87	85.9	0.14	19.46	93.1	1.32	(21.5)	"
22.6	1331	40.2	2.72	81.8	0.18	19.40	94.6	0.85	25.5	30
23.3	1395	44.3	2.86	76.7	0.25	19.77	94.7	1.62	25.8	31
23.0	1434	44.6	2.80	77.2	0.22	19.85	94.6	1.10	25.6	"
23.0	1356	40.0	2.66	84.0	0.15	19.79	95.2	1.06	25.2	"
22.4	1458	41.5	2.57	80.9	0.18	19.37	94.6	1.03	26.1	"
21.2	1491	40.6	2.45	76.5	0.22	18.41	94.2	0.92	25.0	"

性 状 一 覧 表

蒴層歩合	蒴糸長	蒴糸量	蒴糸度 デニール	解舒率	千米落緒	生糸歩合	小ぶし	織度 偏 差	蒴層練減 (生糸%)	調査年度
19.6%	1232 ^米	— ^匁	2.23 ^{デニール}	97%	— ^回	17.5%	96 点	— ^{デニール}	—	23 年
20.4	1086	27.7	2.30	98	0.02	17.9	97	—	—	
20.0	928	27.5	2.67	80.4	0.29	15.8	91	1.06	(19.4)	24
20.6	983	29.5	2.69	87.9	0.15	16.5	91.3	1.07	(21.6)	
20.9	1170	32.9	2.53	85.3	0.16	17.90	92.0	0.99	(21.1)	29
21.8	1148	35.3	2.77	82.7	0.20	18.49	92.8	1.03	(21.7)	
21.3	1140	32.3	2.55	80.4	0.23	18.08	92.8	1.05	(21.3)	"
21.6	1110	33.4	2.71	83.7	0.20	18.36	93.1	1.08	(22.0)	
21.0	1143	31.6	2.49	78.3	0.26	17.70	92.5	1.03	(20.8)	"
22.1	1148	33.4	2.62	79.5	0.26	18.49	94.3	1.03	(22.1)	
21.2	1100	32.6	2.66	82.0	0.20	18.04	92.3	0.95	25.5	30
21.6	1138	35.8	2.83	87.3	0.13	18.34	95.0	0.87	25.2	
20.9	1082	32.7	2.72	82.1	0.21	18.06	92.3	1.28	25.4	31
21.9	1109	34.4	2.80	83.7	0.18	18.78	94.3	1.25	25.6	
20.9	1072	31.2	2.62	73.3	0.37	17.60	91.6	1.14	24.7	"
21.7	1090	33.6	2.78	83.6	0.19	18.64	92.4	0.99	25.2	
20.9	1181	34.2	2.61	82.1	0.20	17.87	94.5	1.00	25.4	"
21.6	1166	34.8	2.69	85.5	0.15	18.42	95.3	0.93	26.4	
21.1	1140	33.2	2.62	81.9	0.21	18.13	94.0	1.06	25.0	"
22.0	1202	35.2	2.64	85.7	0.15	18.78	94.9	0.86	26.1	
21.4	1200	34.1	2.56	73.6	0.37	18.03	93.1	1.50	25.9	"
22.4	1256	36.7	2.63	85.0	0.15	19.11	94.7	1.41	26.5	
21.1	1197	32.8	2.47	82.6	0.19	17.89	93.3	1.02	25.9	"
21.9	1315	34.3	2.35	87.5	0.11	18.77	95.1	0.83	26.5	"

日 124 号 × 支 122 号 (太)

化 性 二 化 性

系 統 日 支 交 雑 種

本種は日支二化性白繭種で春蚕用に供する。

蚕児の体色は青白色で、斑紋は形である。

蚕児の経過は稚蚕期、壮蚕期共に短く全齢においては普通の品種に比べて半日ないし1日短い。従ってこの迅速な発育と旺盛な食慾に対応して良い桑を充分に与え、拈座をおくれないようにするならば、虫は強い方であり、眠起も揃って飼い易い。

繭は白色の豊大な長橢円形で、縮皺は普通若しくは稍粗い。

本種は飼育日数短く、細織度用品種としては収繭量多く、繭糸長長く、繭糸量多く、解舒良く、小ぶしも少ない。

繭糸織度は 2.6 デニール稍太目である。

(日 122 号
支 122 号 (太)) × 日 122 号 (太)

化 性 二 化 性

系 統 日 支 交 雑 種

本種は日支欧三元交雑二化性の白繭種で春蚕用に供する。

蚕児の体色は稍赤味を帯びた青白色で、斑紋は形である。

蚕児の経過は第 1.2 齢期が比較的短く、第 5 齢期が稍長く、日 122 号と支 122 号との交雑種に似ている。

三元交雑種ではあるが眠起は斉一である。

虫質は強い方であるが、稚蚕の経過が稍早いから特に稚蚕中桑不足に陥入らしめないように注意を要する。

繭は白色のよくしまった浅縹色形で、縮皺は普通である。

本種は三元交雑種であるが繭はよく揃い、繭層重重く、繭層歩合及び生糸量歩合多く、解舒良く、繭糸長長く、小ぶしが少ない。繭糸織度は 3 デニール内外で、日 122 号と支 122 号との交雑種よりも稍太目である。

日 124 号 × 支 124 号

化 性 二 化 性

系 統 日 支 交 雑 種

本種は日支二化性白繭種で夏秋蚕用に供する。

蚕児の体色は青白色で、斑紋は形である。

蚕児の経過は稚蚕期、壮蚕期共に日 122 号×支 115 号より短く、全齢においては約半日以上短い。従ってこの迅速な発育と旺盛な食慾に対応して良い桑を充分に与え、蚕寄りする性質があるから絶えず拈座をするようにするならば、虫は強い方であり、眠起も揃って飼い易い。

繭は白色の豊大浅縹れ長橢円形で、縮皺は普通である。

本種は虫質強く、飼育日数短く、細織度用品種としては収繭量多く、繭糸長長く、繭糸量多く、解舒良く、小ぶしも少ない。繭糸織度は約 2.6 デニールである。

(日 122 号 × (支 115 号
日 124 号 × 支 124 号 (この四元交雑種を 2454 と略称する)

化 性 二 化 性

系 統 日支欧交雑種

本種は日支欧四元交雑二化性の白繭種で夏秋蚕用に供する。

蚕児の体色は青系で、斑紋は形である。

蚕児の経過は日 122 号 × 支 115 号より短く、日 124 号 × 支 124 号より僅かに長く、一般にいえは短い方である。虫質は強いが、稚蚕の経過が速く、食桑が活発であるから用桑を吟味して栄養不足に陥らせぬように注意する。四元交雑種であるが眠起は斉一で、繭の揃いも悪くない。

繭は白色の浅溢長楕円形で、縮皺は普通である。

本種は飼育日数短く、細織度用組合せとしては収繭量多く、繭質糸質も良い方である。繭糸織度は約 2.6 デニールである。

春蚕用 新品種の性状一覧表

(昭和 32 年 4 月 14 日 農業資材審議会蚕種部会決定)

No.	蚕 品 種	育成者	飼育日数	初ノ眠起 化期歩合	初ノ眠起 収玉歩合	5 齢終 歩合	1 立 期数	蚕 重	蚕 骨 重	蚕 歩 合	蚕糸長	蚕糸重	蚕糸織度	解舒率	付糸歩合	生糸歩合	小 節	縮皺歩合	縮皺率	縮皺率
新	1 那白×平安	群馬	25.1	9.15	20.1	2	67	2.52	5.40	2.15	1122	47.1	32.0	82.5	0.17	20.08	9.1	1.54	25.1	32年春
品	2 富国×大友	蚕研	25.2	9.12	19.9	3	62	2.51	5.33	2.11	1189	45.6	3.00	82.5	0.16	19.66	9.1	1.48	26.0	"
種	3 大山×錦江	日レ	25.5	9.29	18.5	4	70	2.15	50.1	2.14	1521	42.8	2.54	77.7	0.21	19.86	9.58	1.19	26.5	"
交	0 ₁ (日122 日124)×支122(日)	国	25.2	9.24	19.9	4	66	2.12	5.40	2.13	1391	46.5	1.24	80.5	0.20	19.97	9.41	1.62	26.4	"
雑	0 ₂ 日124×支122(日)	国	24.12	9.19	19.4	6	66	2.29	5.28	2.11	1454	45.8	2.87	81.7	0.16	19.87	9.48	1.12	25.7	"
考	1 白端×(飼 用)	大竜	24.11	9.42	19.1	4	77	2.20	46.5	2.12	1491	40.6	2.45	76.5	0.222	18.41	9.42	0.92	24.7	31年春
	2 春花×光輝	片倉	24.17	9.14	18.4	4	75	2.15	48.0	2.24	1458	41.5	2.57	80.9	0.18	19.17	9.46	1.05	26.1	"